



バーチャルケアを本物のケアに

World Wide Web革命から30年以上が経過した現在、私たちは金融サービス、旅行、ショッピングなど、オンラインでのやり取りを当たり前に行っています。私たちは、不正行為から守ってくれるリアルタイム分析や、自分のニーズに最も合った製品に導いてくれる機械学習の知能を信頼するようになりました。しかし、同じ期間、医療との関わりは、主に対面式にとどまっていました。

COVID-19のパンデミックはそれを変えました。私たちは、オンライン診療がいかにかに時間と費用の節約につながるかを目の当たりにし、リスクの低減により、懐疑的な人々でさえその変化を受け入れるようになったのです。オンライン診療を次のレベルに進めるために、また、保険機関、医療機関、患者にとってオンライン診療を成功させるために、誰もが、臨床情報、人口統計情報、財務情報の円滑かつ安全な流れに基づく新しいツールを必要としています。なぜなら、身体的、精神的、社会的ケアは、それがどこでどのように提供されようとも、提供者が患者さんとそのニーズに関するすべての関連情報を持っているときに最も効果的に機能するからです。

バーチャル・ケアがリアルとなる

もし、医療システムとのやりとりが、他のデジタルライフと同じようになったらどうでしょう。銀行のように。それとも旅行予約？ それともショッピング？ もしも、そうだとしたら。

- 携帯電話での遠隔健康診断から始めて、必要に応じて対面での診察にシームレスに移行することも可能になるかもしれません。
- 人々の生活に関連するすべてのデバイスが接続され、それらが、医療記録や介護者をつなぎ、医療システムとの仮想インタラクションを強化することができるかもしれません。
- 信頼できる機械学習や人工知能にアクセスし、好みや過去の選択によって暗示されるものと一致するような提案を日常的にもらうことも可能になるかもしれません。
- 費用ひや品質評価を簡単に比較して、自分のニーズに合った医療機関を選ぶことができるかもしれません

「もしも」は、今

今まさに、インターシステムズが支援するコネクテッドデバイス、情報システム、データの力を借りて、医療機関は主流のバーチャルケアの基礎を築きつつあります。

ケアの再設計を可能にするコネクテッドヘルスアプリケーションの構築

RhodesGroupは、世界中の臨床検査室向けにソフトウェアを開発しています。InterSystems IRIS for Health™上に構築されたe-MyLabCollectアプリケーションは、あらゆる場所で検体を採取する技術者に完全な患者情報とワークフローの追跡を提供します。

e-MyLabCollectは検体採取の時点で装置対応のラベルを印刷し、効率を高めるとともに検査機関でのラベル交換をなくし、エラーを減少させます。InterSystems IRIS for Health 相互運用性サービスにより、e-MyLabCollect は電子医療記録やその他のシステムとデータを共有することができます。

在宅ケアの情報提供

Thornberryの在宅医療およびホスピスケア向け NDoc 電子医療記録および業務管理ソリューションは、KLAS Research から 7 年連続でトップランキングを獲得しました。

NDoc には InterSystems HealthShare® テクノロジーが用いられており、ケアの移行を迅速、低コストかつ適切に情報提供できるような仕組みになっています。NDocのユーザーには、医療情報交換機関、アカウントブル・ケア・オーガニゼーション、その他のプロバイダーなど、医療全般にわたるソースから収集した包括的な患者データを提供します。

ソーシャルメディアを活用してケア体験を強化

中国の革新的な民間医療提供組織は、消費者の需要に合わせてケアへのアプローチを再設計しています。インターシステムズのTrakCare®ヘルスケア情報システムと、広く普及しているWeChatメッセージング・ソーシャルメディア・決済アプリケーションを活用し、オンラインスケジュール、支払い、医療機関受診時のコミュニケーションに役立てています。これらは、オンラインからオフラインへの統合されたヘルスケアサービス体験の基盤を形成します。

「もしも」を現実にするには？

インターシステムズのテクノロジーは、健全なデータと、そのデータに基づく洞察を、迅速かつ確実に提供することに注力しています。その目標は、いつでも、どんな環境でも、質の高いケアと機敏なケア提供をサポートすることです。私たちの製品は、ヘルスケアをデジタルな未来に導くイノベーションを促進しています。

- 遠隔監視、遠隔測定、スマートデバイスが電子カルテにシームレスに接続され、医療従事者が介入する必要のあるタイミングを検出するリアルタイム分析が可能
- 電子カルテは、病院のベッドサイド、遠隔地のICU、電話相談、プロバイダーの自宅など、どのような環境でも、どのようなデバイスからでもアクセス可能
- 地域や国のネットワークに接続された縦断的な地域全体の健康記録により、遠隔医療サービスは、事前に関係がなくても、患者の完全な健康履歴にアクセス可能

次のステップへ

インターシステムズの製品で何ができるのか、InterSystems.com/jp/で詳しくご紹介しています。InterSystems IRIS for Health データプラットフォーム、InterSystems TrakCare 統合ヘルスケア情報システム、InterSystems HealthShare 相互運用性プラットフォームなど、「もしも」を現実にする製品群です。

